

並行在来線問題で

県幹部と懇談

橋爪団長と上野幹事長

県は肝心な点を明らかにせず

8月18日、党議員団は、並行在来線問題について県庁の幹部と懇談し、説明を受けてきました。

日本共産党竹島県会議員の同席のもと、党上越市議員団からは橋爪団長と上野幹事長、党妙高市議員団からは霜鳥議員の3人が参加し、県交通政策局並行在来線企画室の松澤宏伸室長などから説明を受けたものです。(樋口議員と平良木議員は上越市で開催された県主催の並行在来線問題での集会「左に詳細記事」への参加)。

協野田駅移設工事に関しては、6月21日にJRから「条件付きで工事を引き受ける」と文書回答がありました。これに対して、県と上越市は7月9日、連名でJRあてに、条件に関して受諾するとともに一部に関して要望する文書を出しました。

今回は、これらの文書の内容確認と、今後の方向性などについて説明を受け、意見交換を行ったものです。

地域に役立つ新幹線と 住民の足守る並行在来線めざす

泉田知事

並行在来線の安定経営と北陸新幹線の 利便性向上を目指す関係団体集会

JRに対して及び腰?!

8月18日、リージョンプラザで「並行在来線の安定経営と北陸新幹線の利便性向上をめざす関係団体集会」が開かれました。

北陸新幹線の金沢延伸まであと4年半になりました。この集会は、地域のためになる新幹線の実現と、住民の足としての並行在来線の安定経営を確保する取り組みが緊急の課題になっていることから、関係諸団体が急ぎよ開いたものです。

集会の決議では、「並行在来線は運賃が」1.6倍になり、運転本数が減らされ、公的負担が増大するなど、利用者にも不利益が生じることが懸念される。については、並行在来線の安定経営と負担に見合う受益の確保を要望する」としています。

挨拶に立った泉田知事は、「JRにとっては、(新幹線貸付料として)すでにお金を払っている。JRは本来負担すべき(並行在来線の)赤字部分をリース料として国に納めるわけです。その上にJRにもう一回お金を出せと言ってはたしてJRはのんでもらえるのか、私は無理だと思っています」と述べました。

しかし、この発言は、新幹線貸付料に含まれているとする並行在来線の赤字部分を地元に戻還させるという姿勢は正しいものの、その割合が不明であるなど不透明な面がある中で、JRへの経営支援や投資を求めないという点で問題があります。

今大事なことは、国とともに公共交通の担い手としてのJRにもきちんと責任を果たすよう求めることです。

ところが、知事はJRにはまったく何を言うつもりはないという姿勢を、地元上越でも繰り返しました。これは、右の記事の通りの姿勢を裏打ちするものです。

そもそも、JRに何も言わないというのは、並行在来線の経営をJRから分離するという枠組みを無条件に受け入れたうえの話です。その枠組みが見直されようとしている時期に、過去の枠組みにこだわり、JRに及び腰になっている知事の姿勢が問われます。

なお、同集会には、当議員団から樋口・平良木の両議員が参加しました。

並行在来線の安定経営と北陸新幹線の利便性向上を目指す

この点については、「県としては新幹線貸付料の中に赤字分が含まれている中で、JRの経営参加は二重の負担になるものであり、JRも上場企業である限り、株主の理解も得られないのは明らかです。」



竹島県会議員とともに県幹部と懇談

「在姿譲渡」については、「基本的に簿価で譲渡を受けるが、いるものではないものの吟味をする」というものの、具体的な譲渡資産が示されていないとして、その具体的な姿については何一つ示されないという状態でした。初期投資額にかかわってくる問題だけに、もう少し姿の見える説明が求められます。

主な問題点は、
◎「一括在姿譲渡(現在のそのままの姿で譲り渡すとするもの)」の内容
◎修繕工事と改良工事の捉え方
◎政府与党合意の見直しへの県の姿勢
◎経営分離による赤字解消分が含まれるとする貸付料の還元問題
などです。
予定の1時間を大きく超えるやりとりでしたが、残念ながら先の見えるような明確な説明はありませんでした。
「安全・安心の確保、県民の負担問題もあり、JRの経営参加を求めることが必要ではないか」という私たちの質問に対しても「県としてもできる限りの支援をお願いしたい」と言うだけで、具体的な点については口をつぐみました。

「JRが支払う新幹線貸付料の一部には、並行在来線区間の経営分離によるJRの赤字解消分が含まれている」とした泉田知事発言について、松澤室長は「JR東日本の副社長が並行在来線問題調整会議で発言している。ネットにも載っている。『並行在来線問題調整会議』で検索すれば出てくる」とのべました。しかし、懇談が終わってから、竹島県議のところ松澤室長より電話があり、「検索しても出てこなくなっている」というのです。なぜネットから削除されたのか不思議なことです。

「従って県もそこまででは求めない」と答え、JRに対しては何も求めないという姿勢に終始しました。

また「赤字分の額についてもは国に対して明らかにするよう求めているがまだ示されていない」と答えました。

「JRが支払う新幹線貸付料の一部には、並行在来線区間の経営分離によるJRの赤字解消分が含まれている」とした泉田知事発言について、松澤室長は「JR東日本の副社長が並行在来線問題調整会議で発言している。ネットにも載っている。『並行在来線問題調整会議』で検索すれば出てくる」とのべました。しかし、懇談が終わってから、竹島県議のところ松澤室長より電話があり、「検索しても出てこなくなっている」というのです。なぜネットから削除されたのか不思議なことです。



挨拶する
泉田知事

村山市長が挨拶

日本共産党上越市議員団ニュース

No.246 2010年8月29日

- | | | | |
|-----|--------|----------|----------|
| 連絡先 | 橋爪 法一 | 548-3628 | (吉川区代石) |
| | 樋口 良子 | 544-6802 | (中門前3) |
| | 上野 公悦 | 530-2203 | (頸城区中柳町) |
| | 平良木 哲也 | 525-9096 | (上中田) |